

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2024年6月30日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第46号

「京都福祉まつりと東九条」

京都福祉まつり（以下、福祉まつり）について、少しだけ説明させていただきます。今から50年ほど前に始まりました。その頃の障害者（特に重度）は、庇護され隔離される存在でした。

社会には役に立たないと見なされていました。私たち障害者が地域にいることを知ってほしいということで、まつりを企画していろんな人に関わってもらう。その中には障害者もいる。「共に創る」「共に生きる」福祉まつりが始まりました。

それから50年近く時が経ち、街のバリアは良くなり、「共生」という言葉が社会で聞かれるようになりました。この東九条は多様性がある地域だと思います。東九条マダン、東九条春まつりなど、障害者が必ず関わって「共に創る」「共に生きる」そんな地域になっているのではないのでしょうか。私は障害当事者だから障害者差別のことしかわかりませんが、この差別は国境がない、世界中どこでも存在します。「障害者歩けば差別に当たる」という障害者運動の中で言われている言葉ですが、「東九条歩けば差別に当たらない」そんな地域にしていけたらいいなと思っています。



謎解きツアーの劇中で、ダイヤを盗まれたお嬢さま役を演じた香田さん（右）

福祉まつりの福祉のイメージは、障害者・高齢者というように思われがちですが、私たち一人一人生まれた時から死ぬまで関係ある言葉です。来年3月9日（日）第45回京都福祉まつり開催予定をしています。誰でも楽しめるお祭りにしたいと準備中です。

（香田晴子 日本自立生活センター代表）

「第44回京都福祉まつり 東九条謎解きツアー報告！」

3月10日の日曜日に第44回京都福祉まつりを開催致しました。今回のテーマは「とりあえず会いましょっ」、いろいろな方と出会い、触れ合うことをテーマと致しました。その中の企画として、今回初めて「東九条謎解きツアー」を実施しました。

まずはまつりの拠点となる京都市地域・多文化交流ネットワークセンター（以下、ネットワークセンター）で劇を上演、物語は盗まれたダイヤの指輪を探して欲しい！劇が終わりツアーが始まります。ツアーは東九条にある6つの施設を巡ります。6つの施設に、それぞれ謎が用意され、それを施設の方に協力してもらいながら解いていく。例えば、南部教会では教会の話聞き、エルファでは一緒にハンブルグ語のパズルを解き、E9では劇場らしく古い日記の読み聞かせから少し地域の歴史に触れてもらうなどなど。



在日大韓基督教京都南部教会の礼拝堂にて

各施設で謎を解くと一文字ずつわかる仕掛けで、6つの場所で6文字、それらを合わせると指輪の在処が、犯人がわかる。ツアーは終わりにネットワークセンターに戻り、解決編の劇が始まります。せーの！で答えを言います。指輪を見つけて、めでたしめでたし。（犯人は取り逃がしました。来年もまつりの邪魔をする予定です。）

大人と子どもを合わせて25名の方に参加していただきました。東九条に住む子どもたちには改めて自分の町を見つめる機会に、別の地域から来た子たちにはいろいろな場所や人と触れ合う機会になればと思い企画致しました。

参加していただいた方、ご協力いただいた皆さま、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



エルファにて。奥にある石像がトルハルバン

問題を作成し、実行委員にお披露目した所、みんなから「むずかしいんじゃないか」などと不安な声が聞かれました。ツアー終了後、子どもたちに聞いたら「もっとむずかしくして！」と怒られました。子ども、恐るべしです。

（小川拓哉 京都福祉まつり実行委員）

★謎解きツアーにご協力いただいたみなさま（ツアーコース順）

新井由貴さん（在日大韓基督教京都南部教会）

金井忠司さん（故郷の家・京都）

さとう大さん、呉永伍さん（京都コリアン生活センターエルファ）

朴実さん、中LAさん（東九条市民文庫・マダンセンター）

あごうさとしさん、奥山愛菜さん（THEATRE E9 KYOTO）

小林栄一さん（コミュニティカフェほっこり）

ありがとうございました！

<謎解きツアー 参加者からの感想>

福祉まつりが今年は東九条で開催され、訪れる人たちにとってより身近な催しとして馴染むことができました。さまざまな企画・演目があるなかで、ひときわ興味がわいた一つが謎解きツアーで、対象は主に子どもたちに向けられていたようでしたが、いまだココロだけは「少年」のワタシも小学生のみんなに混じってエントリーしました。

ツアーの説明を兼ねたアプリ①の様な演劇からぐいぐい引き込まれ、演者たちの熱いそして笑いの絶えない演技の巧妙さに魅了されました。ステージ VS 観客というスタイルをもし円形（パン②）にすれば、これはマダン劇②になるな…と想像を膨らませました。なんと言っても”東九条”と聞けば東九条マダン③が思い浮かびますから（笑）。

挑戦者たちは2列になってセンターを出発し、高瀬川を脇目に須原通を南へ、在日大韓京都南部教会、故郷の家をまわり、みんなで難問にチャレンジ、頭をひねります。

THEATRE E9 KYOTOではシアターのお姉さんが、設問を含む日記を読んでもくださいました。東九条在住のある女の子の日記で、かつて鴨川沿いに植えられていたみかんの木が、周辺の改良工事を機に切られてしまった思い出が紹介されました。このときワタシの記憶にある40番地③の光景が思い起こされ、とても感傷的になったものです。エルファに於いては次々と出される難問を解かなければなりませんでしたが、温和な呉（オ）アチョシ④がトルハルバン



東九条市民文庫・マダンセンターにて参加者の尹さん（中央）

⑤と共に手助けしてくださり、何とか答えを導き出すことに成功し、子たちと一緒に歓声をあげました。そしてほっこりカフェでも、これまたとっても優しいアチョシが笑顔でヒントを与えて下さり、ようやく超ムズカシ謎の全容解明に漕ぎ着けたのでした。

締めくくりとなる（ティップリ⑦のような）答え合わせ演技ではダイヤを盗んだであろう真犯人の言い放つ台詞に涙がでました。彼は心の内、犯行に至った動機をこう表現します。

「ダイヤモンドのおかねで この街を全部バリ
アフリーにしようと思っと思ったんや！」
彼の心の叫びと願いと夢が舞台に響き渡りま
す。彼の声は会場に集まった人たちだけでな
く地域の人々の想いと目標にシンクロしてい
ました。



THEATRE E9 KYOTOのホワイエにて

謎解きは無事にはたせました。長いこと念願であった44th福祉まつり@東九条開催が私達に向けられた問いはこれからも続くことでしょう。地域のモンダイ・難題続出…？いえいえ、老いも若きも自分の属性やキャラにかかわらずみんなで力合わせたら易しく解けるのではないか…そんな過剰かもしれない勇気と自信とエンパワメントが与えられたおまつりを楽しめました。ありがとうございました。（尹日鉉）

- ①芝居や民族芸能において本筋に入る前の導入の部分。前座。
- ②朝鮮半島の伝統的な仮面劇の要素を取り入れた芝居。観客が取り囲む円形のパン（場）の中で、楽士・演者・観客とが即興も交えてつくり上げる芝居。
- ③1993年から東九条で続くまつり。様々な立場、ルーツ、違いを受け入れながら、ありのままの自分を表現し、新しい自分を見つける場。
- ④かつて鴨川の堤防に多くのコリアンが暮らしていた場所。
- ⑤おじさん
- ⑥韓国チェジュ島にある石造。トル=石、ハルバン=おじいさん
- ⑦芝居や祭りの最後にみんなで踊って楽しむこと。

第45回京都福祉まつりは、2025年3月9日（日）

京都市地域・多文化交流ネットワークセンターにて開催予定！

「第12回東九条春まつりを開催しました！」



オープニング

4月20日（土）、第12回東九条春まつりを盛況に終えることができました。

凌風小中学校の吹奏楽部と昨年10月に崇仁地域に移転した京都市立芸術大学のサンバ同好会のみなさんが「マツケンサンバ」で共演してくださり、とても華やかなオープニングとなりました。

その他にも、朝鮮舞踊や子どもたちの出し物、学生さん（市立芸大）の弦楽四重奏など、ステージは盛りだくさんの内容でした。東九条マダンのみなさんが朝鮮半島の伝統打楽器（チャンゴ）体験会を行っている途中、偶然通りかかった韓国からの旅行客が飛び入り参加で、アリランを歌ってくださるという出来事もありました。

高齢者施設のみなさんが集まる、春まつり恒例の「いきいきふれあいの輪っ！」というプログラムは、今年もオンラインで5つの施設とつながりました。各施設の花形職員さんたちやゲストの鳥井しんぺいさんと金サランさんが、ギターと歌で盛り上げてくださいました。

ネットワークセンター内では、登録団体や高齢者施設、凌風学区の保育園や児童館、凌風小中学校コリアみんぞく教室の子どもたちの色鮮やかな作品が飾られ、春まつり前後2週間の間、来館者を楽しませてくれていました。

まつりの規模は、コロナ前の状態にまでほぼ復活！本当にたくさんの方々が来てくださいました。そして、さまざまな背景をもつ人たちが集い、地域の人た



京都市立芸術大学 弦楽四重奏

ちとともに楽しめる、東九条らしい最高のまつりになりました。

みなさま、ご協力本当にありがとうございました。



いきいき ふれあいの輪っ！



楽器体験



展示



出店



工作コーナー



フィナーレ さむるのたまご

編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

□所在地：601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

□tel：075-671-0108 □fax：075-691-7471

□開館時間：9時～17時 □E-mail：info@kyotonetworksalon.jp

□webサイト：http://www.kyotonetworksalon.jp

□JR京都駅八条口・JR京阪東福寺・市営地下鉄九条駅より徒歩15分

□京都市バス202・207・208系統 九条河原町より徒歩10分

16・84系統 河原町東寺道より 徒歩1分